感染症診療の最前線2015 (VI)

風疹

国立成育医療研究センター感染症科医長

宮 入 烈

(聞き手 大西 真)

大西 まず、そもそも風疹とはどう いう病気なのかということから教えて いただけますか。

宮入 風疹は、風疹ウイルスの初感 染によって発症する病気です。臨床的 には発熱、発疹、耳介後部のリンパ節 腫脹といった特徴的な3徴をもって風 疹といいます。

風疹ウイルスは、ヒトからヒトへと 飛沫感染で上気道の粘膜に感染します。 まず局所で増殖するので、頸部リンパ 節の腫脹が初発症状になります。

大西 しばらくしてから発疹が出て くるのでしょうか。

宮入 そうですね。局所感染からウイルス血症に至ると、発熱、発疹といった症状が出てきます。発疹に関しては、顔面から全身に広がる、融合しない小丘疹が典型的です。

大西 大人がかかると少し重いと言いますけれども、実際そうなのでしょうか。

宮入 一般的に風疹は、はしか(麻 疹)と対比されて、三日ばしかと呼ば れる比較的軽症な疾患で、不顕性感染 も少なくありません。成人が罹患する と、関節炎が多いことが報告されてい ます。また、成人・小児を問わず、ま れに脳炎あるいは血小板減少性紫斑病 などを発症することもあります。

大西 お子さんが風疹にかかって、 だいぶ治って学校に行っていいという 判断はどの辺でしたらよいのでしょう か

宮入 風疹に罹患しますと、発疹が消失するまでは学校に行けません。また発疹が出て、1週間ほどウイルスの排泄が続くといわれています。

大西 1週間ぐらいが目安ということになるわけですね。

宮入 はい。

大西 それでは次に、先天性風疹症候群、これも非常に重要なテーマだと思いますけれども、そのあたりについて教えていただけますか。

宮入 妊娠している女性が風疹に感染した場合に、風疹ウイルスが胎盤を通して胎児に移行することがあります。

胎児に風疹ウイルスが感染して、そこで様々な障害が起こった状態を先天性 風疹症候群といいます。

先天性風疹症候群は、白内障、難聴、 先天性心疾患など特徴的な所見が典型 的ですが、その他、多臓器にわたる障 害をきたすことがあります。

大西 非常に大きな問題ですね。あとでお話をうかがいますけれども、今はワクチン接種等でそういうものは防げるといいますか、減ってきているのでしょうか。

宮入 風疹自体はワクチン接種によって90%以上予防可能な疾患であります。基本的に先天性風疹症候群については、母親の免疫が確立していれば、ほとんど成立することはないのです。ただ、予防接種歴のある女性、あるいは過去に既往のある女性でも感染して、母親の症状がなくても胎内の感染が成立したという事例があります。したがって、すべての妊婦を守るためには、最終的に集団免疫を確立させて、暴露する機会がなくなることが必要です。

大西 今お話が出ました2013年の流行ですが、このときはかなり大きな問題になりましたけれども、あの状況について、振り返っていろいろ教えていただけますか。

宮入 2011年頃、東南アジアで風疹の大きな流行がありました。東南アジアに出張に行かれた男性が罹患し、それを日本に持ち込み、散発的に職場等

の流行が見られていました。2012年から2013年にかけ拡大し、2013年5月に都市圏を中心に大流行しました。日本全国で届け出があっただけで約1万4,000人の罹患者が記録されています。

大西 これはかなり大きな社会問題になりましたね。この背景には、風疹に対する抗体を持っていない若い人が多かったということがあるのでしょうか。

宮入 今回の大流行の特徴は、感染者の9割が成人であり、男女比は3対1で男性に多く見られたことです。特に30代、40代の中高年男性の流行が中心であったといわれています。

大西 その世代は少し抵抗がなかったと考えてよろしいですか。

宮入 はい。日本国内で風疹に対するワクチンの集団接種が行われ始めたのが1977年です。この当時、予防接種の対象は中学生の女子でした。それから段階的にワクチン接種対象者は拡大されましたが、1979年4月より前に生まれた男性は、原則として接種の機会がなく、抗体を持たない感受性者が大勢存在します。

大西 それがだいたい30代とか40代の男性に多かったということですね。 以前は女性に打てばいいという考え方があって、男性のほうがちょっとおろそかになったこともあったということですかね。男女両方に打たなければいけないのですね。 その予防ワクチンに関してもう少し うかがいたいのですけれども、先ほど のお話ですと、ワクチンの効果はかな り高いと考えていいのですね。

宮入 はい。

大西 ワクチンを打つと、9割ぐら いは終生免疫を保てるのでしょうか。

宮入 終生免疫が得られるかは明らかではありませんが、抗体の持続期間は比較的長いとされています。現行のワクチンの中でも比較的効果が高く、弱毒生ワクチンであるため、1回の接種で液性免疫のみならず、細胞性免疫の誘導が期待されます。

大西 特にワクチンの副作用などは、 めったに起きないと考えてよいのでしょうか。

宮入 比較的安全で有効なワクチンと考えられています。

大西 以前は中学生の女の子で、男の子には打っていなかった。現在はワクチンに関してはどのように推奨されているのでしょうか。ガイドラインのようなものはあるのでしょうか。

宮入 基本的には小児期にMRワクチン、すなわち麻疹と風疹に対する混合ワクチンとして、1歳に1回、そして小学校入学前の1年間にもう1回、2回接種が基本になっています。

それに加えて、今問題になっている成人で抗体保有率が低い年齢層に対しては抗体の有無を確認、あるいは既往歴やワクチン接種歴がなければ検査なしで、MRワクチンを1回打っていただくことが重要だと考えられています。

大西 先天性風疹症候群のことなどを考えますと、ご主人といいますか、男性のほうが積極的にやっていかなければいけないのかなと思ったのですが、そのあたりの接種率などはどうなのでしょうか。

宮入 この年齢層の抗体保有率が 7~8割ということが知られています ので、まだまだです。放置するとまた 大きな流行が起きる可能性があります。 厚労省は、風疹に関する特定感染症予防指針を2014年に発表し、何とかオリンピックイヤーである2020年までに風 疹をコントロールするために、ワクチンを推奨するスタンスを取っています。

大西 オリンピックが一つの契機になるということですね。それで皆さん積極的に打っていただいて、集団で予防して、女性も守っていく。そのような考えでいいですか。

宮入 はい。

大西 どうもありがとうございました。